

令和元年

第8回8月定例教育委員会議事録

令和元年8月26日

大野城市教育委員会

次 第

- 1 招集日時
○招集日 令和元年8月26日
○開会時間 午前10時00分
○閉会時間 午前10時40分
- 2 招集の場所 大野城市役所 本館4階 委員会室3
- 3 会議次第
 - (1) 議事録署名委員
令和元年第7回議事録の署名委員 梶原 千春 委員
今回議事録の署名委員 高野 英機 委員
 - (2) 議事
なし
 - (3) 教育長報告
①平成30年度筑紫地区歯科健康診断結果統計調査報告
 - (4) 報告
なし
 - (5) その他
①教育長の業務報告(7～8月分)
②教育委員会の主な行事・業務の予定(9月分)
- 4 出席した委員等 吉富 修(教育長) 安部 一枝 高木 和敏 梶原 千春
松本 民仁 高野 英機
- 5 欠席した委員 なし
- 6 出席した職員 教 育 部 長 平田 哲也
教 育 政 策 課 長 橋元 啓樹
教 育 振 興 課 長 千葉 太
教 育 指 導 室 長 梶 幸男
ス ポ ー ツ 課 長 神崎 康則
ふるさと文化財課長 石木 秀啓
教 育 政 策 課 係 長 葉山 賀瑞江
教 育 政 策 課 担 当 藤岡 良栄
- 7 会議の書記 教育政策課教育政策・支援担当 藤岡 良栄

午前10時00分 開会

○吉富教育長

それでは、ただいまより令和元年8月定例教育委員会を開会いたします。

会を始める前に、今日の経営会議の場でも話題になっておりましたが、昨日は大野城市消防操法大会がございまして、三十数年ぶりに本部分団が自動車ポンプの部で優勝し、小型ポンプの部で大野城市役所職員が大勢を占めている第三分団が優勝しました。

指揮に当たっていた職員の中隈徹朗さんですが、それまでの2月からの練習の過程を振り返られてのことでしょう、受賞の瞬間は号泣されて、ほんとうに感涙にむせてありました。すばらしい大会だったと思います。この大会は、来年度に筑紫地区大会と全国大会が催され、そこに向かって、また一層の精進が始まります。

いつも思うのですが、通常の業務をそれぞれの立場でこなしした後、それから夜に集まって、このような練習を積み重ね、市民の安寧を守るための努力が行われて、その努力に報いる一つの機会だと思えます。ますますこれからの先の努力をお祈りしたい気持ちでいっぱいでございます。元消防団団長がおられますけれども、本当にこういった方々のおかげで、何もなく毎日の安寧を享受しています。こういう方たちのおかげで安心して暮らせるということを広く学校教育にも知らせていかなければならないと思っています。

ややもすると「働き方」という言葉のもとで、アフター5はよかろうもんという風潮の中、それを逆行するかのような忙しさ、大変さの中で、尽くしてあることに感謝申し上げたいと思います。また、校長会でもこのようなお話を随時させていただきながら、きついのは学校教育だけではないということも、一方で言うておかないといけないなという気持ちになっているところでございます。

発表の瞬間、それから賞状をもらう瞬間、賞状をもらって自席に戻られたときの中隈さんの感涙と、選手宣誓のときの穏やかで、どちらかという控え目な中隈さんの日ごろの態度から見ると、ほんとうに一生懸命されていたんだと感じた次第でございます。ご報告させていただきたいと思えます。高野委員がこれまでに元団長として築かれてこられた、すばらしい集団の文化が息づいていることを強く感じました。お疲れさまでした。

それでは、令和元年8月定例教育委員会を開会いたします。

〔会議録承認〕

○吉富教育長

議事録の承認に入ります。前回7月定例会にて、梶原委員さんをお願いしておりましたので署名をお願いいたします。

○梶原委員

はい。

○吉富教育長

今回の議事録の署名につきましては、高野委員さんに次回の委員会にてご署名をお願いいたします。

○高野委員

はい。

○吉富教育長

よろしくお願いいたします。

〔議 事〕

○吉富教育長

早速、入らせていただきます。3番、議事。今月は議案として提出されているものはございません。

〔教育長報告〕

○吉富教育長

4番に参ります。教育長報告でございます。

お手元に表と折れ線グラフの資料がございますでしょうか。これは、昨年度から委員の皆様へ報告させていただいているものです。

筑紫地区5市の子どもたち——中学生、小学生の歯の健康状態についての表と、その表を折れ線グラフにあらわしたものでございます。大野城市以外の市につきましても、ほぼ同じ内容で構成されておりますので、大野城市のみをかいつまんで説明させ

ていただきます。

前回もご報告差し上げたときに結論として述べましたのは、全国的にも筑紫地区の春日市や大野城市の歯の健康に関する子どもたちの健康状態は極めて良好であるということでございます。

大野城市のところをお開きください。幾つかの資料が載っています。未処置歯のある者の率、むし歯経験者率、C O保有者率、カリエスフリー、一人平均むし歯経験歯数、歯周疾患罹患率で構成されています。

折れ線グラフをごらんください。折れ線グラフは、縦に2列あり、左側が未処置歯のある者の率でございます。もちろん、未処置のある者は少ないほうがよろしゅうございます。薄い黄色のグラフがありますけれども、それは全国平均値です。一番下の水色のグラフが、大野城市の児童・生徒の未処置歯のある者についてでございます。県平均値が赤でございますので、どの学年に至っても、小学1年生から3年生までは県平均より随分下で、大変良好な状態を示していることがわかります。もちろん、ゼロであるにこしたことはございませんけれども、県平均から見ますと、随分下回って良好な状態を保っていることがわかります。

次のDMF率が、むし歯経験者率でございます。むし歯を経験している者は低いほうがよろしゅうございます。県平均が赤、大野城市の場合は水色で下回っていますので、良好であることは間違いないですけれども、限りなく下であるほうが望ましいです。ただ、なかなか県平均をこのように全学年にまたがって下回るとするのは他の自治体にはないことでございますので、大変すばらしいと思っております。

それから、C O保有者率です。C Oといいますのが要観察、観察を要するということです。これから先、こまめにブラッシングすれば、むし歯にならなくて済むかもわかりませんといった意味で、観察が必要なことをC O保有者と申します。小学1年生、2年生、3年生が県と同じで下回っておりませんが、4年生、5年生、6年生から中学2年生までは非常にいい状態で推移していることがわかります。ただ、中3につきましては、忙しくなるからでしょうか、途端に精神衛生の観点からの関心が低まるのでしょうか、少し高くなっております。要観察をC Oと言います。ブラッシングすればむし歯にならなくて済む可能性があるのがC Oです。

それから、カリエスフリーはむし歯がない状態ですので、数値が高いほうが健康的には状態がよいということを示します。大野城市は県平均よりも上にありますので、先ほどの反対の状況が低いと同時に、カリエスフリー者が多いということで、これも

すばらしい状態を示しています。

それから、DMF Tは個人値ではなくて集団値です。一人当たりのむし歯の平均値を出すところになります。むし歯の数でございますので、むしろ低いほうがよいございます。特に小6で大体県平均と同じような推移をたどっていきながら、中学校になると急に県平均を随分下回っています。

それから、GO+G者率のGOというのは歯石なしのことです。軽度の炎症はあるけれども、まだまだ歯石なしと認められるものをGOといいます。歯石があり歯肉炎を起こしていて治療を要するといった結果が出ているものをGと申します。GO+Gは高く、県平均が下回っていますね。これはあまりいい状態ではないです。ですから、毎年1回、子どもたちの歯に関する校医さんたちによる観察の後には、しっかりと歯磨きについての努力目標をきちんと出していかなければいけないということになります。

全体的な傾向につきまして、筑紫地区は日本全国の他地区と比べて非常に健康状態がよいということで、筑紫地区の歯科医師さんたちに「なぜこのような結果が出るのか」と、いつもながら問い合わせが来るという報告をいただいております。筑紫地区によっても、差はありますけれども、大野城市に限っては、保護者に家庭でのご努力を願っているということでございます。

以上、報告を終わらせていただきます。何かお尋ねはございますか。

〔「なし」の声あり〕

○吉富教育長

それでは終わらせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

〔報 告〕

○吉富教育長

次に5番、報告。報告は今月もございません。

次に進ませていただきます。

〔その他〕

(1) 教育長の業務報告（7～8月分）

(2) 教育委員会の主な行事・業務の予定（9月分）

(3) 2学期学校訪問・研究発表会の日程について

(4) 秋季小学校運動会について

○吉富教育長

以上をもちまして8月定例教育委員会を閉会いたします。

午前10時45分 閉会